

# 岡山で演劇を観る人を増やしていくための仕掛けづくり

## 演劇ユニット coicoi

### 活動の目的

演劇ユニット coicoi は、「何度でも観たい演劇、誰かと観たい演劇」をコンセプトに芝居作りを行っており、「生きた」芝居を上演することで、ほかのどんな娯楽よりも人々の心を動かせるのだと考えている。観に来て下さったお客さまの期待以上の高いクオリティで上演することで、演劇の面白さを味わってもらい、岡山で演劇を観る人を増やしていくことが当ユニットのテーマである。同時に、普段は演劇を見ない方々に、気軽に劇場に足を運んでもらえるような環境作りを行いたいとも考えている。中国・四国地方の他県では演劇が年々盛り上がっている一方、岡山県内では映画や他の娯楽と比べて「敷居が高い」「よくわからない」というイメージを演劇に対して持たれている方も多く、演劇が市民生活に根付いているとは言えないという側面がある。そのような現状の中で、演劇に興味をもってもらうために、様々なジャンルの文化とコラボレーションを行い、コラボレーションを通して文化活動を普段から行っている方々に「演劇」を知っていただきたいと考え、そうすることでひいては岡山県全体の文化活動の活性化に寄与できれば、とも願っているところである。

### 活動の内容及び経過

第5回公演「贗作 罪と罰」を5月27日～28日、岡山県天神山文化プラザにて開催。来場者505名。

今回の公演で言えば、書道や身体表現を演劇作品に持ち込むことで、各方面で文化活動にかかわっている人々をつなげていくこと、また、「文化交流の場」という意義を持ち、岡山県下でも類を見ないほど多くの企画や展示を行っている天神山文化プラザでワークショップや公演を行うことにより、新しい形の文化を創造していくこと、を課題として掲げ、実現を目指して様々な取り組みを行ってきた。書道では県内外で活躍する明誠学院高等学校書道部の、高校生の皆さんに参加いただき、ワークショップでともに作品を書いたり、芝居中に書道パフォーマンスをしていただいたり、そして書道の作品を装置や小道具として用いたり、様々な面でご助力いただくことができた。若い皆さんとの交流を通して、お芝居に興味を持っていただくことができたと思っている。また、身体表現では「やなる企画」の矢鳴孝一郎氏にご助力いただき、感情表現としてのダンスを全編通してつけていただき、お芝居と身体表現があわさってよりお客様に理解していただきやすい舞台になったのではないかと考えている。



### 活動の成果・効果

今公演は、当ユニットとしては例を見ない規模の大きな公演となり、ありがたいことにたくさんのお客様に足を運んでいただくことができた。舞台や照明なども大掛かりなものとなったが、本助成をいただけたことにより、「書」と「モノクロ」をテーマにした素晴らしい舞台装置を作り上げることができ、また有限会社スペース・アートさんへ本格的な照明を依頼することが可能であった。そして何より、多くのお客様に coicoiらしい愛に溢れた演劇を観ていただけたのではないかと考えている。

### 今後の課題と問題点

当団体はユニットであるため劇団のような持続性は残念ながら無いと言える。一回限りのメンバーでその時できる最高のものを目指すものである。それゆえ、「文化の担い手」としては中途半端な存在であるかもしれない。しかし、「岡山の演劇」に対して熱い思いを持っているメンバーを集め、これからも「生きた」芝居を提供していきたいと考えている。

- 代表者：福田史子
- TEL：080-6322-9778
- E-MAIL：coicoi.okayama@gmail.com
- URL：https://coicoi5151.wixsite.com/mysite
- 設立年：2012年 ●メンバー数：15名